

区障がい者相談支援センター事業応用評価基準

	項目	評価の狙い・ポイント
個別ケース 検討会	個別ケース検討会議に住民組織関係者が参加している	住民組織関係者（民生委員、ネットワーク委員等）に参加を呼びかけ、個別ケース支援にあたる体制作りをしている
	地域の困難ケース等についての事例検討、事例の共有を図る仕組みが運用されている	困難ケースへの対応等について、事例検討が行われその結果が活かされるよう共有されている
	個別ケース検討から見えてきた課題をまとめている	個別ケース検討から見えてきた地域の課題をまとめ、課題解決に向けた取組みに活用できるような仕組みが取られている
専門機関団 体と住民組 織との連携 強化	担当区の地域特性を把握している	担当区の地域特性の把握のために必要な情報を収集・整理し、定期的に更新して地域特性を把握している（地形・人口・障がい者数・生活保護受給率・専門機関の状況・社会資源など）
	担当区のニーズ把握を行っている ア) からウ) を行っていること エ) は、努力項目	担当区のニーズを把握するため、計画的に意識して情報を収集している ア) 障がい者やその家族の相談支援業務を通じて把握 イ) 専門機関団体との連携や会議を通じて把握 ウ) 住民組織との連携や会議を通じて把握 エ) その他、アンケート調査等
	既存のネットワークを活用するための働きかけを行っている	既存の障がい者支援に活用できるネットワークを把握し、そのネットワークを活用するために定期的な情報交換、会議への参画などの働きかけ、仕掛けづくりを計画的に行っている
	担当区の課題解決のために協働した取組みを行っている	担当区の課題について、担当区内の住民組織等に広報するなど解決のための協働した取組みを計画し、継続的に行っている ア) 地域の課題解決に向けて、関連する団体等をまじえて検討を行っている イ) 課題に関する研修会等を実施している ウ) その他独自の取組みを行っている
	担当区で連携が不足している関係機関に働きかけを行っている	担当区の障がい者支援ネットワークの構築において、連携が不足している関係機関に連携強化のための働きかけを積極的に行っている
ネットワーク構築の取組みを関係機関に報告している	課題解決の取組み（ネットワーク構築）について、各区の自立支援協議会等を通じて関係機関に報告している	